

第 2 回検討部会における意見等への対応について（適応）

No.	質疑内容	対応	資料
1	<p>【施策体系】 緩和策と同様に<u>施策体系に区・区民・事業者がやることというクレジットを付けると施策の整理が大丈夫であるというチェックができるのではないか。</u> 施策の内容が書かれているが、これも<u>区・区民・事業者の 3 者でそれぞれ何をするのか、書き分けると良いのではないか。</u></p>	<p>各分野における主な対策として、区の取組みの他に区民・事業者等の取組内容を明示する。</p>	<p>資料 5 P. 34-38</p>
2	<p>【施策体系】 施策体系に「区民」という言葉が入っていない。<u>区民に対する施策であることが分かるように記載するのが良いのではないか。</u></p>		
3	<p>【施策体系】 施策体系と施策のつながりについて、「強いまちづくりの推進」、「魅力あるまちづくりの推進」は将来像や基本方針から見るときれいでわかりやすいように思うが、施策を見ると、特に「強いまちづくりの推進」は区民や事業者など個人にやってもらう施策となっており、面の施策ではないという印象である。「まちづくり」にこだわらず、「気候変動に強い住まい方、働き方の推進」のようなキャッチフレーズでも良いと考える。</p>	<p>「強いまちづくり」、「魅力あるまちづくり」ともに個と面の対策を含むため、現状のままとする。</p>	<p>—</p>
4	<p>【施策体系】 「気候変動適応の推進にかかる基盤整備」について、「<u>基盤整備</u>」という言葉で良いか悩ましい。普及啓発以外にも情報収集や関連施策との連携があるが、それらは「基盤整備」とは異なる対策に感じるため、表現の仕方を工夫するのが良いのではないか。</p>	<p>「基盤整備」を「体制づくり」に変更する。</p>	<p>資料 5 P. 23</p>
5	<p>【施策体系】 関連施策や関係機関との連携は非常に重要になると思うため、<u>基盤整備の中に記載の場合は明示的に記載してはどうか。</u></p>	<p>関連施策や関係機関との連携を、一つの施策として頭出しする。</p>	<p>資料 5 P. 23</p>
6	<p>【施策体系】 「<u>3-2 複合災害への対策の推進</u>」は「<u>基盤整備</u>」よりも「<u>まちづくりの推進</u>」の方がおさまりが良いのではないか。</p>	<p>複合災害は分野横断的であるため、現状どおり「気候変動適応の推進にかかる基盤整備（体制づくり）」に含める。</p>	<p>—</p>
7	<p>【水害対策】 水害対策について、<u>事業者によって実施がない。行動指針は事業者にもできるのではないか。</u></p>	<p>行動指針は区民に限らず事業者向けも含めて検討していく。事業説明に事業者を含むことを明記する。</p>	<p>資料 5 P. 25</p>
8	<p>【BCP の作成支援】 <u>中小企業などの B C P 策定の支援についてはどうか。</u></p>	<p>水害対策等に関する事業者への普及啓発の中で B C P 作成に関する情報提供等を行う。</p>	<p>—</p>

No.	質疑内容	対応	資料
9	【地下街等への対策】 建物の浸水対策について、千代田区は地下街の対策のようなものはあるか。もし必要であれば考慮してもらいたい。地下空間のネットワークも面で考えるという点では大事なところかと思う。地下街については、雨にも濡れず、日射も遮り移動できるというように、プラスにアピールできるところもある。	水防法に基づき、浸水想定区域内の地下街等及び要配慮者利用施設における避難確保・浸水防止計画の作成や訓練の実施を促している。取組みに追加する。	資料5 P. 25
10	【避難所の停電対策】 避難所の停電対策について、電力ももちろんだが、例えば体育館に大人用トイレが結構遠いところしかないなど、もともと避難所として使うことを想定して造られていないため、そういう施設を避難所として使うという視点で検証することはこれから重要なことと考えている。	避難所における対策は最優先に対応していくよう災害対策の部署とも協力する。 電気自動車の活用について取組み内容に追加する。	資料5 P. 25
11	【避難所の停電対策】 避難所に蓄電池が整備されているという話と併せて電気自動車の活用なども考えると思う。練馬区では区内の電気自動車を持っている、例えば自動車のディーラーなどに協定のような登録をしてもらい、災害時に活用できるような施策を持っている。そのようなことも加えていくと思う。		
12	【災害廃棄物処理計画の策定】 災害廃棄物処理計画の策定について、災害廃棄物は地方であれば空き地などで処分できるが、都心だと道路しかなく処理するのが難しい。また、事業所の廃棄物は事業者処理してもらおうのが一般的だが、千代田区の場合は事業所が多いため、誰がどう処理するのか、事業所任せでは中小企業はできない。防災行政や環境省と協力する施策になるため千代田区に何かしてくれということではないが、状況が厳しいので問題意識は高い。	所管部署と認識を共有のうえ、協力しながら策定を進めていく。	—
13	【熱中症等の表現】 熱中症について、熱中症は影響のほんの一部のため、例えば健康で生きようなど広い言い方がいいのだが、一般の方に伝えるときに熱中症などにした方が分かりやすいのであれば、そのような表現を使って、中身の説明でもっと広い影響があることを述べるようにしても良いかもしれない。	区民への分かりやすさを重視し、表現に留意しながら「熱中症等」の表記を使用する。 将来予測される影響として熱ストレスによる死亡リスクの記述を追加する。	資料5 P. 26
14	【クールスポットの活用】 クールスポットで水分補給もできるようにするとより良い。	冷房の効いた公共施設のスペースを活用する「ひと涼みスポット」とともに水分補給ができる環境整備を検討する。	—

No.	質疑内容	対応	資料
15	<p>【まちづくりのイメージ】 熱中症や暑熱対策について、個別の対策が多く、魅力あるまち、暑さに強いまちがどのようなイメージか、どう施策がつながっているのかが見えてこない。例えば生活において高齢者や子どもが歩いても熱中症になりにくい、熱を受けにくいなど、生活につながるようなイメージで対策は進んでいるという関係がわかると良いという印象を受けた。最後のマニュアルの方なのかもしれないが、まちづくりのイメージがわかりやすく伝わると良い。</p>	<p>「気候変動に強いまち」と「魅力あるまち」について、説明の記述を追加する。</p>	<p>資料5 P. 24, 28</p>
16	<p>【まちづくりのイメージ】 区民に伝えていくために面展開する、生活につながるイメージを示していくことは重要な視点である。</p>		
17	<p>【関連部署・機関との連携】 どのような手法によって到達させるかというところで、区の中の他の部署や関連する機関と協力してどのように到達させるかを考えることがとても重要である。</p>	<p>各主体の取組みや実施体制を整理し、計画で示す。</p>	<p>資料5 P. 32</p>
18	<p>【対策の重点化】 例えば地域的な重点化をする、あるいは対象を高齢者などのクラスターに対して重点化する、重点化の戦略といったものも計画の中にあっても良いかと思う。そういうところを際立たせていくことにより計画がいきいきとして進んでいく勢いになっていくのかと思う。</p>	<p>対象等の重点化が必要となる分野は、対応方針において明記する。</p>	<p>資料5 P. 24, 26</p>
19	<p>【考え方の説明】 リスクの状況をどのように評価したのかということや社会的に弱いところに注意していくということ、重点施策の考え方など、分かりやすい正解が見出しにくい中では考え方を示すことが説明責任を果たすという意味で非常に重要であると感じた。</p>	<p>計画の各項目において考え方を記述する。</p>	<p>—</p>
20	<p>【WBGTの測定】 WBGTの測定について、保育園やこども園は該当するのか。</p>	<p>保育園やこども園は活動場所が限定されていない傾向があるため、比較的活動の利用頻度が高い校庭を有する小・中学校等を対象に測定器を設置する。</p>	<p>—</p>
21	<p>【ひと涼みスポットの周知】 ひと涼みスポットはぜひ推進してもらいたいが、利用者にこういう場所がこういう役割を持っていると知ってもらうことが非常に大事である。今後設置と情報発信、周知も併せて推進してもらえると良い。</p>	<p>情報発信や周知方法についても併せて検討を行う。</p>	<p>—</p>

No.	質疑内容	対応	資料
22	<p>【大気汚染対策】 大気汚染対策について、緩和策として電気自動車の購入などがあったが、コベネフィットの視点から、大気汚染対策にも効くため書いた方が良くはないか。 自転車の利用についても新型コロナウイルスの影響でより自転車を使うことが増えてきているため、都市計画や道路決定の計画で自転車道を整備することも視野に入ってくるのではないか。</p>	「1-6 大気汚染による健康被害への対策の推進」の取組みに「自転車や電気自動車等の利用促進」を追加する。	資料5 P. 27
23	<p>【大気汚染対策】 大気汚染について、適応策と緩和策のどちらか一つに載せなければならないというわけではないため、両方に載っていても施策としては良いと思う。その辺も踏まえて検討してほしい。</p>		
24	<p>【指標】 指標に熱中症の救急搬送者数を入れているが、他の病気の数も変わる可能性があるため、もう少し広くとった方が良く。もう一つは死亡の情報が入手できるのであれば、例えば日別の死亡者数のデータを提供してもらえると評価がしやすい。</p>	健康分野の指標に「超過死亡者数」を追加する。 他の病気の件数等は今後のデータ分析を踏まえ、適切な指標を追加する。	資料5 P. 33
25	<p>【指標】 自然災害の指標で浸水対策に対する協議件数とあるが、これは新築のときに限られる。難しいかもしれないが、全体として重点的にサポートしなければならない場所、ポイントはいくつあって、それに対して強弱はあってもどんな働きかけをしたかがわかるような指標があると良い。</p>	自然災害分野における浸水想定区域や健康分野における高齢者や子どもなど、重点的に取り組む対象のある事業については、対象における進捗が把握できる指標を検討し、追加する。	—
26	<p>【指標】 自然生態系のアウトカム指標は現段階で設定しないとあるが、2030年で再評価する際に困る。例えば「基盤整備」にある啓発のような施策は継続して努力していくことが大事な活動施策になると思うため、指標は設けず継続的な努力をもって評価することで指標の代替にしてはどうか。</p>	自然生態系のアウトカム指標は設けず、毎年度の事業継続を評価対象の一つとする。	—
27	<p>【指標】 アウトカム指標の見せ方について、特に熱中症搬送者数は気温が少し上がるだけで大きく変わる。それをもって対策していないという見られ方をしないよう、出すときには注意が必要である。</p>	アウトカム指標を示す際は、要因となる外力も併せて示すなど、誤解を生じさせない表現に留意する。	—
28	<p>【指標】 区民の評価、意識調査などを適応計画に限らず区全体で行う際などに、適応計画の認知や施策に対する評価を並行してやってもらえればと思う。</p>	アウトカム指標として、区民世論調査等の結果を活用する。	—